

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40085	社団法人 北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 7 ジフテリアトキソイド 8 ジフテリア破傷風混合トキソイド 9 乾燥破傷風抗毒素 10 沈降精製百日せきワクチン 11 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40086	社団法人 北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国、オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/04/21	40087	社団法人 北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40088	社団法人 北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 沈降精製百日せきワクチン 6 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	1~3. ニュージーランド、オーストラリア 4~6. 不明	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40089	日本赤十字社	1-3 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有り	無し	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を採取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の採取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
											E型肝炎	Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はインシンの肝臓を生で採取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
											G型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な供血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。
											ハンタウイルス感染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(10): 4894-7	ドイツでヨーロッパに広く分布するハタネズミによって媒介されるハンタウイルス属ツウラ種の感染により腎症候性出血熱と肺炎を併発した初めての症例の報告。
											ウイルス性気道感染(hMPV)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22: 923-4	オランダの研究者により分離されたhMPVは5歳未満の児童の呼吸器に感染し、呼吸器疾患を引き起こす新型ウイルスであり、院内感染の原因となることが確認されている。
											ロスリバーウイルス感染	ProMED 10/8, 2003 (Bunbury Mail 10/8, 2003)	ロスリバーウイルスは、ヒト蚊の感染サイクルが成立する南オーストラリアに限定された感染症であり、その潜伏期間は2~21日である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											C型肝炎	Hepatology 2003; 38(4 suppl 1): 156A-818A, Abstracts of the 54th annual meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases	米国で血清中にHCV-RNAが検出されず、他に原因が特定できない長期の肝疾患患者57人の肝生検サンプルをRT-PCR法分析した結果、47人(70%)にHCV-RNAを認めた。この潜在性HCV患者の肝臓病の程度は、通常のHCV感染例より重症である。
											C型肝炎	Transfusion 2003; 43(9s): S107-040G, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	チンパンジーを用いて、ウインドウ期にある血液でHCV感染が成立するために必要なウイルス量を検討した結果、個別NATで判定のボーダーラインとなる~1copy/20mlのウイルス量が必要であることが判明した。
											A型肝炎	ABC Newsletter 11/14, 2003	米国ペンシルバニア州で、A型肝炎による400人以上の集団感染が発生した。輸血による感染はまれであるが、北オハイオ赤十字血液センターは、発生源となったレストランで食事をしたヒトからの供血を12ヶ月間延期する感染防止措置を取った。
											E型肝炎	Hepatology Research 2003; 27: 169-73	東京及び近郊の居住者1,033人の血清検体を用いて、HEV IgG抗体の保有率を調査したところ、肝臓病患者集団では15.4%、健康人で3.0%、幼児では0.4%で抗体が認められた。E型肝炎の汚染地域に遡航したHEV抗体陽性者はいないことから、感染ルートの解明が待たれる。
											デング熱	British Medical Journal 2003; 327(7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起こると予想する国は多い。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institutions press releases 12/18, 2003	英国保健省は、輸血を介してvCJDに感染する可能性がある患者が死亡したことを英国議会に報告した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/27, 2003 (Dr. S. Shafran, E. Wayne Johnson, Allen Drusys の投稿 12/26, 2003)	米国で、BSEに感染したウシの第1例が報告された。自ら歩行もできないこの感染牛の肉を、米国政府は食用としての使用を許可したことは理解しがたい。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-94	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine 2003; 9(12): 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
											人畜共通感染症(サル痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22(12): 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたプレーリードッグであった。
											HIV感染	AABB Weekly Report. 2004; 1/2	日本で献血者のNATスクリーニングを実施してから、第一例目の輸血後HIV感染が報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
											インフルエンザ	OIE Alert messages.2004.1.13	日本において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal 2004; 328: 119-20	vCJDが輸血を介して感染する可能性が示唆されたことから、現時点で講じるべき感染リスクに対する諸対策が示された。
											A型肝炎	Journal of Medical Virology 72:10-16(2004)	A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ウイルス量のピークはALT値に相関していた。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology 2004; 42(1): 347-350	PCRによるSARSウイルスの検出方法が開発された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス感染	ABC Newsletter 1/30, 2004	アイルランド輸血サービスは、WNV感染に対する予防策として米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。
2004/04/21	40090	日本赤十字社	乾燥ヘパシ処理人免疫グロブリン	乾燥ヘパシ処理人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
											E型肝炎	Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
											C型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な供血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。
											ハンタウイルス感染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(10): 4894-7	ドイツでヨーロッパに広く分布するハタネズミによって媒介されるハンタウイルス属ソウラ種による腎症候性出血熱と肺炎を併発した初めての症例の報告。
											ウイルス性気道感染 (hMPV)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22: 923-4	オランダの研究者により分離されたhMPVは5歳未満の児童の呼吸器に感染し、呼吸器疾患を引き起こす新型ウイルスであり、院内感染の原因となることが確認されている。
											ロスリバーウイルス感染	ProMED 10/8, 2003 (Bunbury Mail 10/8, 2003)	ロスリバーウイルスは、ヒト蚊間の感染サイクルが成立する南オーストラリアに限定された感染症であり、その潜伏期間は2~21日である。
											C型肝炎	Hepatology 2003; 38(4 suppl 1): 156A-818A, Abstracts of the 54th annual meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases	米国で血清中にHCV-RNAが検出されず、他に原因が特定できない長期の肝疾患患者57人の肝生検サンプルをRT-PCR法分析した結果、47人(70%)にHCV-RNAを認めた。この潜在性HCV患者の肝臓の程度は、通常のHCV感染例より重症である。
											C型肝炎	Transfusion 2003; 43(9s): S107-040G, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	デンバンジーを用いて、ウィンドウ期にある血液でHCV感染が成立するために必要なウイルス量を検討した結果、個別NATで判定のボーダーラインとなる~1copy/20mlのウイルス量が必要であることが判明した。
											A型肝炎	ABC Newsletter 11/14, 2003	米国ペンシルバニア州で、A型肝炎による400人以上の集団感染が発生した。輸血による感染はまれであるが、北オハイオ赤十字血液センターは、発生源となったレストランで食事をしたヒトからの供血を12ヶ月間延期する感染防止措置を取った。
											E型肝炎	Hepatology Research 2003; 27: 169-73	東京及び近郊の居住者1,033人の血清検体を用いて、HEV IgG抗体の保有率を検査したところ、肝臓病患者集団では15.4%、健康人では3.0%、幼児では0.4%で抗体が認められた。E型肝炎の汚染地域に渡航したHEV抗体陽性者はいないことから、感染ルートの解明が待たれる。
											デング熱	British Medical Journal 2003; 327(7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起こると予想する国は多い。
											クロイツフェルト-ヤコブ病	EU Institutions press releases 12/18, 2003	英国保健省は、輸血を介してvCJDに感染する可能性がある患者が死亡したことを英国議会に報告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/27, 2003 (Dr. S. Shafran, E. Wayne Johnson, Allen Drusys の投稿 12/26, 2003)	米国で、BSEに感染したウシの第1例が報告された。自ら歩行もできないこの感染牛の肉を、米国政府は食用としての使用を許可したことは理解がたい。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-94	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine 2003; 9(12): 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
											人畜共通感染症(サル痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22(12): 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたプレーリードッグであった。
											HIV感染	AABB Weekly Report. 2004; 1/2	日本で献血者のNATスクリーニングを実施してから、第一例目の輸血後HIV感染が報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	GDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
											インフルエンザ	OIE Alert messages.2004.1.13	日本において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal 2004; 328: 119-20	vCJDが輸血を介して感染する可能性が示唆されたことから、現時点で講じるべき感染リスクに対する諸対策が示された。
											A型肝炎	Journal of Medical Virology 72:10-16(2004)	A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ウイルス量のピークはALT値に相関していた。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology 2004; 42(1): 347-350	PCRによるSARSウイルスの検出方法が開発された。
											ウエストナイルウイルス感染	ABC Newsletter 1/30, 2004	アイルランド輸血サービスは、WNV感染に対する予防策として米国、カナダ、メキシコからの帰国者について4週間の採血延期措置を決定した。
2004/04/21	40091	日本赤十字社	1-3 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	E型肝炎	Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
											E型肝炎	Journal of Infectious Diseases 2003; 188(6): 944	日本で急性E型肝炎を発症した2名の患者はイノシシの肝臓を生で摂取していた。日本において地域的なHEV感染が潜在している一因は、こうした食習慣による可能性がある。
											G型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な供血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。
											ハンタウイルス感染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(10): 4894-7	ドイツでヨーロッパに広く分布するハタネズミによって媒介されるハンタウイルス属ツララ種の感染により腎症候性出血熱と肺炎を併発した初めての症例の報告。
											ウイルス性気道感染(hMPV)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22: 923-4	オランダの研究者により分離されたhMPVは5歳未満の児童の呼吸器に感染し、呼吸器疾患を引き起こす新型ウイルスであり、院内感染の原因となることが確認されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ロスリバーウイルス感染	ProMED 10/8, 2003 (Bunbury Mail 10/8, 2003)	ロスリバーウイルスは、ヒト蚊間の感染サイクルが成立する南オーストラリアに限定された感染症であり、その潜伏期間は2~21日である。
											G型肝炎	Hepatology 2003; 38(4 suppl 1): 156A-818A, Abstracts of the 54th annual meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases	米国で血清中にHCV-RNAが検出されず、他に原因が特定できない長期の肝疾患患者57人の肝生検サンプルをRT-PCR法分析した結果、47人(70%)にHCV-RNAを認めた。この潜在性HCV患者の肝臓の程度は、通常のHCV感染例より重症である。
											G型肝炎	Transfusion 2003; 43(9s): S107-040G, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	チンパンジーを用いて、ウィンドウ期にある血液でHCV感染が成立するために必要なウイルス量を検討した結果、個別NATで判定のボーダーラインとなる~1copy/20mlのウイルス量が必要であることが判明した。
											A型肝炎	ABC Newsletter 11/14, 2003	米国ペンシルバニア州で、A型肝炎による400人以上の集団感染が発生した。輸血による感染はまれであるが、北オハイオ赤十字血液センターは、発生源となったレストランで食事をしたヒトからの供血を12ヶ月間延期する感染防止措置を取った。
											E型肝炎	Hepatology Research 2003; 27: 169-73	東京及び近郊の居住者1,033人の血清検体を用いて、HEV IgG抗体の保有率を検査したところ、肝臓病患者集団では15.4%、健康人で3.0%、幼児では0.4%で抗体が認められた。E型肝炎の汚染地域に渡航したHEV抗体陽性者はいないことから、感染ルートの解明が待たれる。
											デング熱	British Medical Journal 2003; 327(7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起こると予想する国は多い。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institutions press releases 12/18, 2003	英国保健省は、輸血を介してvCJDに感染する可能性がある患者が死亡したことを英国議会に報告した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/27, 2003 (Dr. S. Shafraan, E. Wayne Johnson, Allen Drusys の投稿 12/26, 2003)	米国で、BSEに感染したウシの第1例が報告された。自ら歩行もできないこの感染牛の肉を、米国政府は食用としての使用を許可したことは理解がたい。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43(12): 1687-94	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、パフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine 2003; 9(12): 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
											人畜共通感染症(サル痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22(12): 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたプレーリードッグであった。
											HIV感染	AABB Weekly Report. 2004; 1/2	日本で献血者のNATスクリーニングを実施してから、第一例目の輸血後HIV感染が報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
											インフルエンザ	OIE Alert messages.2004.1.13	日本において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal 2004; 328: 119-20	vCJDが輸血を介して感染する可能性が示唆されたことから、現時点で講じるべき感染リスクに対する諸対策が示された。
											A型肝炎	Journal of Medical Virology 72:10-16(2004)	A型肝炎ウイルスに感染すると、黄疸出現後490日までウイルスが検出可能であり、ウイルス量のピークはALT値に相関していた。